

途 上



題字：副校長 文責：教頭

夏休みも「よし、やろう」 ～小池副校長先生から～

6月、全校が朝から午後まで学校で過ごす生活が始まった日に「よし、やろう」というお話を放送でしました。次のような内容でした。

昨年度の3月初めから、4月はじめの5日間を除いた臨時休業期間が先週終わりました。今日からは全校が朝から午後まで学校で過ごす生活が始まります。新たな感染症と共に生きていく社会づくり、新しい生活をみんなで作っていきましょう。

これからの生活を始める前に、長いお休みの中で、皆さんが何を考え、どう動いたか、この3月からの休みの生活を振り返ってみましょう。

長い間、家で過ごす時間が多かったですね。よくがんばりました。その間、自分でコントロールできるたくさんの時間があったはずですよ。お家の人に言われたのではなく、自分なりに「よし、やろう」と決めて、何かをし始めたことはあったでしょうか。どんなに小さなことでもいいです。思い出してみてください。あるとしたら、それはなぜそうしようとしたのか思い出してみてください。あるいは、やっつけて自分なりに気づいたことがあったら教えてもらいたいなと思います。

先生たちもこの間たくさんの「よし、やろう」を実行してきました。オンライン授業やYouTubeの動画配信などです。

「よし、やろう」と自分で決めて、動き出すのはとてもワクワクして楽しいですね。そして、何か動き出すきっかけというのは、だいたいちょっとしたことだったりします。その根っこにはあなたが心をひかれたり、おもしろそうだなと思ったりしたことがあるように思います。

お父さんお母さんに言われてやったり、やらなきゃいけないことをしたりするのは、それはそれで大切で、そのことがきっかけで、もっと深く「よし、やろう」になることもあります。

すでに行っているクラスがあるかもしれませんが、休み中の「よし、やろう」をクラスみんなで発表してみてもどうでしょうか。とってもおもしろいことがたくさんあるような気がします。友だちの新たな一面を知ることになるかもしれませんね。

それでは、全校での新しい生活を始めましょう。「よし、やろう」。

19日間の夏休み。いつもよりちょっと短い夏休み。でも、みんなは臨時休業中に「よし、やろう」を身につけました。まとまった時間をどう使うか。自分の頭で考えて、決めて、動き出してみよう。

夏休み明け、一段とたくましくなった皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

集えたからこそ

『分散登校』から『短縮通常日課』の期間中、私も子どもたちと一緒に、運動公園の臨時駐車まで歩きました。その時に出会ったのが、1年2組のFさん(君)でした。暑い中、大きなランドセルを背負い歩くFさんが何ともかわいらしく、また、話す口調もFさんらしく、いろいろなお話をしました。その中で、Fさんはこんなことを話しました。

「教室の黒板ていいよねえ、大きくて。(塚本)先生はチョークで何でもかけて、うらやましいんだよ。黒板ほしいんだよ、ぼく。チョークで書きたいんだよ」と。

Fさんがこう語ったのは、分散登校が始まってすぐのことでした。オンライン授業時に塚本先生の後ろに映る黒板への憧れがあり、分散登校が始まって、実際の黒板と再会し、黒く緑色に輝く黒板への憧れを強くしたのだと思います。話の中で、「お母さんに頼んでみる！」と言っていたので、しばらくしてそのことを聞いてみました。するとFさんは、

「黒板はねえ、買ってもらえなかったんだよ。だけど、白い黒板(ホワイトボード)を買ってもらったよ。チョークは書けないけど、黒と赤と青のペンがあって、それで書くことができるんだよ」

と、うれしそうに話しました。きっと、そのFさんにとっての黒板で、先生になって授業をしてみたり、お絵かきしてみたりしているのかなあとと思います。

そんなFさんが、先日の分散参観日での国語の時間、憧れの黒板の前まで来て、発言をする場面に出会いました。1年生は、国語で平仮名の学習をしています。この時間は、「は」と「わ」、「へ」と「え」の使い方と読み方について考える場面でした。黒板にはこの4つの平仮名の使い方が間違っている



文がありました(例えば、「僕は、川へ行きます」が「ぼくわ、かはいきます」といった文)。たくさんの子が手を挙げ、1つ1つ間違いを直していきました。平仮名の訂正がすべて終わった時、「まだ間違いがあるんだけど」と言って手を挙げたのがFさんでした。まわりからは、「もうないよ！」

「ぜったいないよ！」の声。そんな声が聞こえる中、Fさんは塚本先生に指名され、黒板の前に立ちました。そして、

「この文に間違いがあると思うよ。川にワニがいますって書いてあるけど、

川にワニは、いないよ」

一瞬の沈黙…。しばらくして、「ワニは川で暮らすじゃん」「日本にはいないけど、世界にはいるよ」こういった声が聞こえてきましたが、Fさんにとっては、川にワニはいなかったのです。平仮名の学習でしたが、Fさんにとってはこの一文が大ごとだったのです。

通常登校が始まり、クラスみんなでお花屋さんへ出かけた時に会った川にも、授業や休み時間で出かけた自然体験の大池にも、そして、家族と出かけて見る川にも、ワニは住んでいない。それなのに教科書の文には、川にワニがいて書いてあったのです。Fさんにとっての日々の暮らしと教科書が描く非日常の暮らしとに、大きな大きな違い、違和感があったのです。Fさんは、そのしっくりとは来ない“感じ”を、言葉にして表現しました。

何気ない授業の一場面でしたが、Fさんらしさがにじみ出る、素敵な発言でした。そして、クラスのみんなと保護者が見つめる前で堂々と発言するFさんが頼もしくも見え、また、6月からの二ヶ月間の成長を感じました。

臨時休業を終え、登校が再開してからの約二か月間、学級ごとに、様々な活動や学びを繰り広げてきました。あさがおの活動、生き物との暮らし、野菜の栽培に紙玉でっぽう、ブーメラン竹とんぼづくりに自然体験園の枝を使った額づくり、学校のプールでつくる『え〜んやこ〜ら』（6年生の、この場面の姿を、次号お伝えする予定）に歴史学習などなど、学級での、学年での、大切な時間を過ごすことができました。



明日からはその活動や学び、暮らしがひとときの中断を迎えます。一人ひとりがこれまでを振り返り、夏休みならではの学びと遊びを大切に、夏休み明けからの新たな暮らしにつなげてほしいと思います。

“お陰さま”と“有り難さ”の気持ちをもち続けたい

臨時休業期間中に池田児童会長から発信のあった『感謝の木』。描かれた木にもかかわらず、感謝の葉が増え続け、今も大きく大きく1階廊下にそ

びえ立ち、子どもたちの様子を見守ってくれています。

新型コロナウイルス感染症が猛威をふるう中、私たちは無事に学校へ通うことができました。それは、感謝の木と同様に、多くの方に見守られ、支えていただいたからこそです。

時間正確においしい給食を用意してくださる給食室の先生方、学校へ来校される方などに細やかに対応してくださる事務室の先生方、そして、羊やヤギさんたちが食べられる草の場所を残しつつ、暑い中伸びた草を刈ってくださっている庁務の先生方、こういった方々の“お陰さま”で日々過ごすことができていたことへの“有り難さ”も忘れないでほしいと思います。

学校からのお知らせ

(1) 夏休み期間中の問い合わせについて

明日から夏休みとなります。8月11日から17日は閉庁日のため日直がおりません。学校に用事がある場合には、閉庁日以外の平日にお問い合わせください。

(2) 職員の異動について

事務室の浅田裕子先生が7月をもって異動（附属松本中学校）となりました。約4年お務めいただきました。8月からは、大塚章史先生がお見えになります。

(3) 夏休みの生活について

- ① 新型コロナウイルス感染症の第2波が懸念されています。各御家庭、夏休み期間中には外出する機会が増えるかと思いますが、『3密』に配慮した行動ならびに手洗いうがいの徹底を心がけるようにお願いします。なお、感染者および濃厚接触者になった場合には、必ず学校（担任）へ連絡するようにしてください。
- ② 夏休み期間中、花火をする機会があるかと思いますが。花火の使用について東京消防庁より、「消毒用アルコールは火気により引火しやすく、また、消毒用アルコールから発生する可燃性蒸気は空気より重く低所に滞留しやすいため、取り扱う場合には十分な注意が必要です」という注意喚起が発信されています。花火をはじめ火の取り扱いには十分気をつけるようにしてください。

(4) 夏休み期間中の児童玄関ならびに職員玄関前の花の水やりについて

先日、夏休み期間の「学校の花の水やりおよび芝のスプリンクラーの場所替え作業」を依頼するメールをさせていただきました。詳細はメールをご覧ください。8月3日（水）が〆切りとなっています。可能な方いらっしゃればよろしくお願ひします。

(5) ランチルームの校時について

ランチルームの工事が夏休み中に完了します。ランチルームの使用も可能になり、ランチルーム前の階段も利用できます。ご承知おきください。

(6) 年間行事予定表の配布について

夏休み明けからの年間行事予定表は、8月19日（水）に配布いたします。